

チャレンジ

～ BLUE POWER ～

大和市立つきみ野中学校
第2学年 学年だより第10号
令和元年 7月9日発行

* キャンプを終えて（作文紹介第1弾） *

三者面談も最終日となりました。担任との面談を通して、今の生活を見直すきっかけとなれば幸いです。さて、6/10（月）・11（火）に行われたキャンプについて、子どもたちが作文を書きました。いろいろな思いで作ってきたキャンプを終えて、どんな気持ちだったのか、どんな思いをしていたのか、ぜひご一読ください。（作文の文章は原文のままです。ご了承ください。）

『キャンプで感じたこと、知ったこと』 2年7組 生徒1

一年生の時からキャンプに向けて準備をしてきて、とても長い間皆は頑張ってきた。まずは皆に「お疲れ様」と言いたい。本当に皆は頑張ってきた。いや、頑張りすぎたくらいだ。その「皆」の中に僕が入れていることに大変うれしく思っている。僕は2日間のキャンプで、いや、1年の終わり、キャンプの準備が始まってからキャンプ2日目の家に入る瞬間までのとても長い期間の間たくさんの人生の宝物を手に入れることができた。今もその宝物は僕の中で輝いている。これからもずっとこの輝きは僕の中で生き続けるだろう。

僕がなぜ、このような素晴らしいものを手に入れられたのか、その理由としてはキャンプまでの長い間僕は仲間と共に放課後に残りキャンプ成功に向けて準備してきた。その日々の積み重ねがキャンプでの大きな達成感、人生の宝物に変わっていったのだ。

キャンプで僕は色々と知る、感じるということができたと思う。教室では見られない友達の意外な一面を知ることができた。皆で一つの目標に向かって進み続けることの大切さを身にしみて感じることができた。何かを成功させるためにはそれなりの、苦労、努力が絶対必要だと言うことを、このキャンプで感じ、新たに知ることができた。これら人生の宝物を知るため、手に入れるためにキャンプ、キャンプまでの期間があったのではないか。このキャンプをとおして様々なものを感じて、知ってきたが、僕の心に残っているものは「目標なくして成功なし！！ゴールなくして達成なし！！」というものであろう。



【ファイヤー場でのクラス写真】

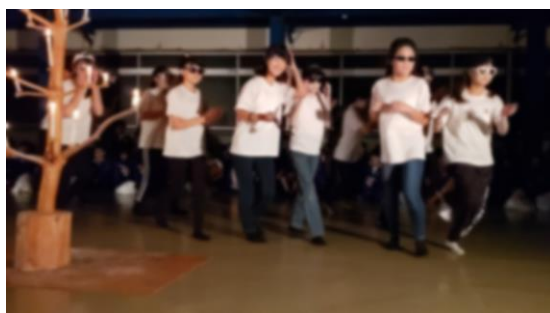
『大切な一枚』 2年7組 生徒2

「わぁ～西湖だ～」ドキドキ・ワクワクで止まらなかった。初めての2年7組、青学年で行くキャンプ。一生で一度としかかない、このクラスで行くキャンプ。すごく複雑な思いだったけど、このクラスで行くのは一生で一度かもしれないキャンプで最高の思い出を作りたい思いは変わらなかった。

「はぁ～い、とりますよ～」キャンプ場について初めてのクラス写真。その日は雨が降っていて少し暗かったけど、みんな笑顔で思い出に残る1枚目が出来た。西湖はすごくキレイで気持ちよかった。自然を感じられて心の中がすごく落ち着いてスッキリした。「美味しいの作るぞ～」天候は雨のためみんなで1つの場所に集まり、ご飯を作った。みんな初めてで、すごいゴチャゴチャしていた。その中で、班で「この野菜って、この切り方でいいの」など助け合ったり、班だけではなくクラス全体で助け合ったりして最高に楽しかった。私たちの班は、とてもおいしいハヤシライスが出来た。心に残る思い出がもう1枚増えた。

「うわ～、取れる～」最高なご飯を食べたら次は、炊事道具の洗い物。黒い炭みたいなのが取れるまでずっと洗う。1時間くらいみんなやっていて、先生に見せるたびに「これダメ、こことって～」必ず返させられる。何時間も洗ってやっと先生に「合格！」って言われ、班の人たちと大喜び、また仲間との絆が深まった。心に残る思い出がもう一枚。

いよいよキャンプファイヤー。その日は雨で外では出来なかったけど最高の思い出が出来た。7組のスタンツ。みんなで踊りきり、最後の言葉「7組～最高～」本当に7組は最高だと思った。次の日、、、みんなで散歩し、あっという間に帰る時間。胸の中は思い出で一杯になった。青学年で行った。大切な一枚が新たに。



【7組のスタンツの様子】

『ふり返ってみて』 2年6組 生徒3

「ああ、つかれた、…」

今はもう帰りのバスの中。この2日間色々な事があったなと振り返りながら、魔女の宅急便を見ている。宮井さんがケガをしたり、キャンプファイヤーがキャンドルファイヤーになったり、炊事中にクモが肉の中に入ったり、大変だったけれどすごく楽しかった。そのなかでも私のいちばんの思い出はやっぱりキャンプ(キャンドル)ファイヤー。実行委員として前から準備していたし、スタンツもメインキャラクターになることが出来、目立つことが多かったからだと思う。他のクラスのスタンツはどれもハイクオリティーで6組が最初にやっておいて良かったとつくづく感じる。実行委員が考えたゲームも過去イチの盛り上がりを見せていて楽しかった。ハイスカズンバでは学年の一体感をより強く感じられた。ある意味どこかの宗教的な。踊っている自分たちを輪の外から見てみたかった。絶対面白い。ファイヤーが終わって集会所から出ると、「笑顔」の火文字。たくさん笑えて、たくさん緊張して、たくさんつかれたキャンプファイヤー。でもみんなを笑顔にすることが出来てすごくうれしかった。先生に頼まれて悩んだ末にやって良かった。きっとやらなかったら後悔していた。

「え、ここもうすぐ着くじゃん！！やだやだ帰りたくない！」そろそろキャンプも終わりに近づいている。今回で学んだ、様々なこと・心に残っている思い出を忘れずにこれからを過ごしていきたい。そして「206メンバーでキャンプ行けて本当に良かった！！」

【6組のスタンツの様子】



『最高のキャンプ』 2年6組 生徒4

6月10日の朝、私はわくわくとときどきで胸が一杯だった。なぜならこれから1泊2日のキャンプが始まるからだ。1日目はあいにくの雨だったので、朝の集合場所は体育館だった。実行委員長さんや先生の話が終わってみんなクラス毎にバスに乗った。バスの中では、友達と話したり、バスレクをしたりして、とても楽しい時間を過ごした。パーキングエリアをすぎた後、6組のバスは氷穴へと向かった。氷穴の中はまるで違う世界に来たかのようなようだった。

氷穴見学が終わった後、バスは私たちがお世話になる紅葉台キャンプ場へと向かった。途中でバスの中から西湖が見えた時、とても感動した。キャンプ場に着いた後、バンガロー内で昼食を食べて、開村式を行った。キャンプ場の三浦さんの話を聞き終わり、いよいよキャンプ場内での活動がスタートした。

炊事の時、私の班はカレーを作ることになっていた。私はかまど係だったので、火起こしをした。なかなか火がつかなかったので原田先生に手伝ってもらった。無事にカレーは作ることが出来たが、あまりご飯が炊けなかった。でもそれもいい思い出になったと思う。炊事が終わり、キャンプ最大のイベント「キャンプファイヤー」をする時間になった。雨のため、集会場内でのキャンプファイヤーになった。スタンツでは6組が一つになって劇を成功させることが出来た。他のクラスのスタンツもとても面白かった。みんなが「バカ」になれたキャンプファイヤーだった。

2日目、朝の集いを行って、朝食を食べた。その後、炊事用具やバンガロー内の清掃を行った。来た時よりもきれいに掃除をしようと思った。撤収作業が終わった人たちが他の人たちを手伝ったりしていた。そのとき私は目標を達成することが出来たと思った。ハイキングに行く頃曇っていた空に青空が見え始めた。きっと青学年一人ひとりの熱い心があったから晴れたのだろう。私はとてもうれしい気持ちで一杯だった。ハイキングは樹海をクラス毎に散策した。樹海の中はとても緑がきれいで自然が豊かだった。ハイキング終了後、閉村式を行った。

1泊2日のキャンプはあっという間だった。青学年のブルーファイヤーをとることができ、絆を深めることも出来た。このキャンプは一生思い出に残る宝物になった。今後も青学年全員で協力し、静と動で活動していきたい！



【西湖湖畔のクラス写真】

『忘れられないキャンプ』 2年2組 生徒5

ファイヤー運営の劇担当として四月から準備し、いろんなことにドキドキしながらもつくり上げたキャンプ。そこでは、今まで感じたことのないようなことが、いっぱいあったので、そのうちのいくつかを話したいと思います。

まず一つ目は、「仲間意識」です。小学生の頃に行ったキャンプと今回のキャンプの一番の大きな差はこれだと思います。小学生の頃は「上手くいけばいいなー。」みたいな軽い気持ちでしたが、今回は違います。実行委員として、また一人の班員として「絶対に成功させてやる！」という熱い心でのぞんでいました。しかし、「一人だけ」ではなく「みんなが」いなければ絶対に叶うことのない物だと思います。実際、炊事、キャンプファイヤー、ハイキング…どの場面でも、みんなといるから楽しめたし、みんながいるから成功したんだと思います。そんなことを思うと、良い意味で鳥肌が立ってきませんか。とても不思議な感覚なのに、気持ちが良いんです。

二つ目は、「恥ずかしいを捨てる」ことです。思い返すと、我を忘れていた場面というのが幾つかあったと思います。特に二つあったんですが、一つは（秘密）ということで、一つだけ話します。それは皆さんもご存じの通り、キャンプファイヤーの劇です。これは四月から繰り返し練習をしてきたものです。カツラは当日急につけることになったのですが、もう自棄（やけくそ）でした。あの台詞も当日になって急に変更を入れ、試行錯誤を重ねた結果出来たものなんです。僕はフラパチーノ吉田という名前で出演しましたが、相当緊張しました。四月から実行委員で作り上げたキャンプファイヤーはどうでしたか？生憎の大雨でしたが、きっと思い出に深く刻まれたことと思っています。

最後に「2-2の38人との出会い」です。キャンプを通して僕が一番強く感じたのは、2-2のみんなと出会えてよかったということです。キャンプの時はどんな時もそばに2-2のみんながいてくれたから成功したんだと思います。僕は、このクラス全員に「ありがとう」を言いたいです。本当にみんなと出会えてよかったと思っているからこそ、言える言葉だと考えています。

他にもまだまだいっぱい話したいことはあるんですが、ここでは書ききれないので、他の点はみんなと過ごしていく中で話せたらな、と思います。一大行事は一つ終わってしまいましたが、これから青学学年全員、そして、2-2の39人で一緒に頑張っていきましょう。

「ブルーファイヤー」が永遠に消えませんが、



【西湖湖畔でクラス写真】

『キャンプに行って』 2年2組 生徒6

「雨、か…。」キャンプ当日の朝、この時期の天気予報はあてにならないと思っていたが、今日は的中。僕はキャンプが楽しみだったが、係やスタンツなど、しっかり出来るか不安だった。しかも雨となるとより不安だ。しかし、学校に着いて友達と話さううちに楽しみだけになっていた。そして出発、キャンプ場に到着して、写真撮影などを終え、バンガローに向かった。中に入ると、2階もあり、3人ぐらいではしゃいでいた。昼食中、スタンツの流れを確認し、広也さんに最後のIKKO風発声練習を指導した。炊事が始まり、米を洗うところまでは、家で手伝う時と同じだが、飯ごうを火にかけ、様子を見ながらやるのは初めてだったので2つのうち、1つこげて、もう一つはまだ水が残っている状態など、とても難しく思った。僕は、炊飯器がどれだけ便利なものなのかを実感した。そして完成したハヤシライスはとてもおいしかった。

最大のイベント、キャンプファイヤーの時間になり、場所へ向かった。歌ったりして楽しかったが、2組の番が近づくと緊張してきて、練習のように出来るか不安だったが、いざ本番となると楽しもうという気持ちが勝っていた。スギちゃん風に声を出してやり切ることが出来た。キャンプファイヤーのあとほかのクラスの友達に声をかけられたりもして、自分的に十分やり切ることができたと思った。2日目もみんなと協力することが出来てとても楽しい2日間になった。僕はキャンプで様々なことを知ることができた。そして、スタンツのネタのようにこれからも全力で物事に取り組んでいこうと思った。



【2組のスタンツの様子】

『波乱のキャンプ』 2年3組 生徒7

「ちょ、ジャマ!どいてっ!」 「灰がっ、肺がやばい!」
「ちょっと交換して!アレっ、うちわどこいった!?!」
そのときの火事場は”カオス”と呼ぶにふさわしい状態だった。
本来ならバンガローの目の前にあるかまどで炊事をする予定
だったのだが、しかし、かまどで火おこしをしたり、はんごう
で炊飯したりとそもそも不慣れなことが多い上に、2クラス分
としては明らかに狭い炊事場でトラブルがおきないはずもなく、
幸いけが人は出なかったものの、案の定上記のような状況になっ
たわけである。そんな状態でつくったカレーは野菜のしんはの
こっている上に、灰が大量に混入していたり、ご飯の粘度がすご
かったりと正直おいしいかと問われれば“あまりそうでもなかった”、しかしみんなで協力してつくったカ
レーには、普段とはまた違った満足感があつた。



【ファイヤー場でクラス写真】

あたりが暗くなっても雨はふり続き、室内でキャンドルファイヤーをすることとなった。とはいえ、キャ
ンドルもそれはそれでいい雰囲気があり、その中でするスタンツやゲームはとて
も盛り上がった。特に、3組、自分たちもアドリブをほどよくきかせつつ、與那
嶺さんのカツラも本番ならではの雰囲気があり、自分で言うのもなんだが、3組は
かなり成功した方だと思う。僕はこのキャンプで、みんなの力をあわせること、
みんなで協力することを学べた。この思い出は一生の経験になるだろう。



【炊事の様子】

『青学年全員で楽しめたキャンプ』 2年3組 生徒8

「明日、晴れるかな〜、、、」キャンプ前日、私はそんなことを考えながら荷物準備をしていました。当日、
いつもより2時間ぐらい早く起きて学校に出かけるしたくをしている時、テレビで西湖の天気予報を見ると
雨、、、。ちょっとテンション下がり気味で学校へ向かいました。でも、体育館でクラスの子と話していると
だんだんテンションが上がってきて早くキャンプ場に行きたいという気持ちが高くなっていきました。
バス内では最初の方は友達と話していたけど途中からは寝ちゃって記憶がないです、、、(笑)

バス内での時間はあっという間に過ぎて富岳風穴もはじめて行ったので寒すぎてびっくりしました。キャ
ンプ場に着くと、やっぱり雨、、、でも楽しみな事の方が多かったので正直あまり気になりませんでした。炊
事の時には分からないこともたくさんあったけど班の人や他の班、クラスの人と教え合いながら時間はかか
ったけどその分おいしいご飯が作れたのでうれしかったです!そして夜にはずっと楽しみにしていたファ
イヤー!!あいにくの雨でキャンドルファイヤーになってしまったけど、みんなの声が良く聞こえたので、
それは良かったかなって思います。クラススタンツは2週間前ぐらいから練習し始めてクラスの雰囲気が一
層悪くなってしまったこともあったけど、西羅さん、蘭辺さん達がみんなの事を考えて台本を作ってくれた
ので、とても楽しいスタンツになったと思います!他のクラスもそれぞれ個性豊かですべて笑っていました
☺寝る時は準備の時間が短かすぎて15分間ばたばたしていました(笑)。夜のキャンプ場は思っていた以
上に寒くて夜中に何度もおきたが、印象に残っていて改めて山の寒さを感じました、、、。

2日目は朝の5時ぐらいに起きて友達としゃべりながら準備をしていました。炊事の時に使った鍋や飯ご
うをひたすらあらってふいて、、、を繰り返していたのが今で
も頭に残っています。雨が降ってしまったのでハイキングは
中止で樹海散策だったけど普段はめったに入ることができな
い樹海の中を感じることができたので良かったと思います。

私は今回のキャンプを通して青学年の色々な面を見れた事
が一番良かった事なのかなと思います。いつもとは違う環境
で青学年全体をもっといいものにすることができたと思
うので今回の“キャンプ”が中学2年生最高の思い出になり
ました。



【3組のスタンツの様子】

《素敵な作文ありがとうございます!第2弾もお楽しみにしてください。》